

市民意見交換会にかかる意見・質問及び回答(令和8年4月末時点)

委員会名：文教常任委員会

番号	委員会等で整理した市民からの意見・質問等	意見・質問等への対応(執行部からの回答内容を含む)
1	<p>現在の教育現場は、教員が多くの業務に追われ、子供たちへの影響が懸念される。教員の負担軽減のための対策について聞きたい。</p>	<p>市教育委員会へ確認し、「本市では、令和3年2月に策定した「大分市立学校における働き方改革推進計画(第二次)」に基づき、平成30年12月から、タイムレコーダーにより勤務時間が算出される「教職員出退勤管理システム」を活用し、教職員一人一人の勤務時間を客観的に把握、分析している。これまで、教職員の負担軽減のための対策として、自動音声案内システムによる勤務時間外の電話対応の見直し、学校給食費の公会計化、学校徴収金管理システムの導入による副教材費等の徴収事務の軽減、学校連絡システム「すぐー」を活用した保護者との連絡に関する業務の効率化などにより、教職員の負担軽減を図っている。また、教職員の業務補助等を行うスクールサポートスタッフや特別な教育的支援を必要とするこどもの個別の支援を行う補助教員等を配置し、支援体制の充実にも努めている。さらに、令和7年度からは、夏季休業日を5日間延長するとともに、これまでの毎月第1・3水曜日の全市一斉退勤日を含め、学校の実態に合わせて月4回以上の定時退勤日を設定するなどの取組も進めている。今後は、校長会や教頭会の代表との働き方改革に係る意見交換会等を通じて、引き続き学校の状況を把握するとともに、現在策定している「大分市立学校における働き方改革推進プラン2030」に基づき、チャシ配布の電子化や教員不足の解消等に取り組み、教職員がこどもに効果的な教育活動ができるよう、学校における働き方改革の一層の推進に努めていく。」との回答を受けました。</p> <p>本委員会としても、教育現場の現状を重く受け止めており、市教育委員会の学校における働き方改革の取組について、より一層充実したものとなるよう求めていきます。</p>
2	<p>安全・安心な通学路を確保するための予防的な対応や対策について聞きたい。</p>	<p>市教育委員会へ確認し、「各学校では、「大分市通学路安全プログラム」に基づき、保護者や地域関係者と連携して、学期に1度の通学路の安全点検を行うとともに、必要に応じて、改善要望箇所を「大分市交通問題協議会」に報告し、事件・事故の未然防止に向けた対策を行っている。また、「こどもの安全見守りボランティア」の活動について、学校運営協議会や保護者会等を通じて協力依頼を行うとともに、「通学路安全マップ」を作成し、通学路や地域の危険箇所を把握することにより、実効的な見守り体制の強化に努めるなど、ハード・ソフト両面での包括的な対策に努めている。」との回答を受けました。</p> <p>本委員会としても、引き続き、市教育委員会に安全・安心な通学路を確保するための取組を行うよう求めていきます。</p>